

令和7年度 自己評価

新入ひまわりこども園

1. 本年度の重点取り組み目標・計画

生きる力の基礎となる、“丈夫な子”、“優しい子”、“意欲的な子”、“考える子”に育つために、「知・情・体」の調和のとれた活動を行い、乳幼児の全面発達を保障する。
また、園生活を安全に過ごせるよう常に心配りを怠らない。

2. 学年別目標・計画

0歳児	【乳児】 応答的に関わる特定の保育者との間に情緒的な絆を形成し、人との信頼関係の基礎をつくる。 保健的で衛生的な環境の中で、心身共に健康に過ごせるようにし、一人一人の生活リズムを安定させていく。
1歳児	【1歳】 一人ひとりが健康、安全に過ごす中で、保育者に思いを受け止めてもらいながら、欲求を安心して表すことができるようにする。
2歳児	【2歳児】 明るく伸び伸びと行動し、健康、安全な生活に必要な習慣を身につけさせる。また、安心した環境の中で自己肯定感を育む。
3歳児	【3歳児】 一人ひとりが快適に生活し、健康増進が積極的に図られるようにする。また、生活や遊びを通し、保育者や友だちとの関わりを築いていく。
4歳児	【4歳児】 保健的で安全な環境の中で、一人ひとりが自信をもって自己を発揮できるようにする。また、基本的な生活習慣や言葉、態度が身につくようにする。
5歳児	【5歳児】 安定した生活リズムの中で、健全な心を育て、自ら健康で安全な生活をするための望ましい習慣や態度を身につける。また、園生活を楽しみ、主体的に行動することの充実感を味わい、自信をもって生活できるようにする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

主な評価項目	取組状況
1 運営規定 運営規定を作成しており、職員や利用者に規程を周知しているか	園内に据え置くほか、ホームページに掲載している。また、入園時や規定の改正時には保護者に同意をとっている。
2 施設整備	定められた基準を満たす設備を整えている。 また、設備及び遊具については、職員が定期的に自己点検を行うほか、業者にも見てもらう機会を設け、安全管理に努めている。 新園舎になり、2年が過ぎ注意すべき点も見えてきた。旧園舎からの遊具などは特に注意し確認を行っていく。
3 園児 認可定員を遵守しているか	認可定員の範囲内で出来るだけ運用しているが、待機児童対策もあり、弾力運用の範囲内で、市の要請により定員を超えて園児を受けている

<p>4 教育・保育目標の理解と周知</p> <p>教育・保育理念</p> <p>教育・保育方針</p> <p>教育目標について、教職員間の共通理解ができているか</p>	<p>教育・保育理念及び教育・保育方針を事務室や各教室に掲げるとともに、全体の計画や指導計画を作成するうえで職員と再確認し、共有している。</p> <p>また、教育・保育の実践結果を職員全体で見直しそれをその後の教育・保育に活かすように努めている。</p>
<p>5 教育・保育内容</p> <p>教育・保育要領の理解</p> <p>教育・保育指針を踏まえた指導計画の作成</p> <p>保育の記録と次の指導計画への反映ができているか</p> <p>園児の実際の行動に合わせた環境への配慮</p>	<p>教育・保育要領を常に見直し、教育・保育に取り組むよう努めるとともに、外部で実施される研修会等によって、新たな知見を獲得し、それを広く職員で共有する努力をしている。</p> <p>研修に関して職員へ積極的に情報提供を行った。</p> <p>また、指導計画は、教育・保育理念及び教育・保育方針を踏まえ、また、年々変化する環境を考慮し、それに伴う園児の実際の行動を考え作成している。</p>
<p>6 特別支援教育</p> <p>当該園児についての情報共有</p> <p>家庭・医療・福祉等の関係機関との連携</p> <p>特別支援についての理解</p>	<p>令和7年度も、公認心理師を積極的に利用し、特別支援が必要なことへの理解に努めた。また、直方市の保健師や児童発達支援センターなどをはじめとする関係機関との連携もできる限り利用し、そこで得た知見や子供の情報を職員間で共有した。</p> <p>さらに、職員で情報を共有する必要があるケースも多く、支援委員会を積極的に開いた。</p>
<p>7 教育・保育の記録等</p> <p>園児の育ちに関する帳票の整備</p> <p>園日誌等を適正に整備しているか</p>	<p>全体の計画をもとに各クラスの指導計画を整備し、個々の指導計画、週案、日案に落とし込んでいる。</p> <p>また、食育の観点からも園児の発達を見守っている。</p>
<p>8 保幼小連携・地域交流</p> <p>地域の小学校との教育交流</p> <p>地域住民の方への園行事等の周知</p> <p>参加交流を行っているか</p>	<p>しだいに、行事などが増えてきて交流などは増えてきた。また、小学校との交流についても1年に3回程度行った。</p> <p>地域の行事などについても参加が増えてきた。</p>
<p>9 虐待防止等</p> <p>虐待等の状況が見受けられないか</p> <p>行政との連携を行っているか</p>	<p>休み明けの怪我が引き続き目立つ状況にあり、怪我に至る状況の把握や記録に努めた。</p> <p>また、児童相談所や直方市の要保護対策地域協議会との連携を密にし、情報の共有やケースの支援に努めた。</p> <p>さらに、子どもの人権について職員一人ひとりが配慮し、子どもたちが生き生きと園生活を送れるよう職員の共通理解を図った。</p>
<p>10 健康・衛生管理等</p> <p>健康診断および歯科検診の実施はされているか</p> <p>マニュアルの整備はされているか</p> <p>睡眠時の状態等を観察記録して適切な処理がされているか。</p> <p>不随する研修の実施</p>	<p>健康診断および歯科検診は確実に年2回実施できるよう工夫し、実施した。</p> <p>また、感染症対策マニュアルや事故対応マニュアルを整備し、職員に周知している。</p> <p>睡眠時のチェックは乳児について5分おきに1歳児は10分おき2歳児は15分おきに行い、観察記録をつけている。</p> <p>なお、職員が身につけた感染予防対策をいかし、さらなる技術・知識取得のための研修をどのように体系づけるか検討している。</p>
<p>11 保護者との連携</p> <p>保護者と連携して園児の情報を生かした保育をおこなっているか。</p>	<p>登園管理者保護者への連絡を「hugnote」(保育業務管理システム)を使用しお便りや園の情報を発信している。</p> <p>5類感染症へ移行後は行事も行えるようになり、保護者の参加もでき</p>

<p>問題発生時の保護者連絡、園情報の発信は適切か</p> <p>保護者の園行事の積極的な参加</p> <p>保護者の園の教育、保育理解はできているか</p> <p>保護者からの要望・意見を適切に対応できているか</p> <p>守秘義務を遵守しているか</p>	<p>るだけ受け入れるようにしている。</p> <p>守秘義務については、全職員に誓約書をとるとともに、職員会議等で何度も伝達し、その徹底に努めている。</p>
<p>12 教育・保育時間</p> <p>教育課程に準じた教育・保育時間設定しているか</p>	<p>保育を必要としている園児がほとんどであるので、長時間園で生活することを前提に、教育・保育時間を設定している。</p>
<p>13 地域との連携</p> <p>相談支援・情報提供相談支援事業・一時預かり事業</p> <p>保護者と地域の子育て支援団体等の連絡・調整事業</p> <p>地域の子育て支援者に対する情報提供・助言事業</p>	<p>子育て支援サークル「くれよんクラブ」や地域との交流も徐々に活動を始めているが、令和 7 年度についての利用は少なくなってきた。今後は直方市と連携し、需要の掘り起こしや地域交流の活動内容の検討を行っている。</p>
<p>14 苦情解決体制</p> <p>苦情解決体制及び手順に沿って行われているか</p> <p>苦情の再発防止に対応しているか</p>	<p>苦情解決体制及び手順については、事務室に掲示するほか保護者に入園のしおりでお知らせする等している。</p> <p>この手順を利用された保護者はいないが日ごろの保護者の意見等を活かしながら園を運営していった。</p>
<p>15 食事提供</p> <p>管理栄養士の管理のもと食事提供されているか</p> <p>アレルギー対応が個々にされているか</p> <p>衛生自主点検が行われているか</p>	<p>管理栄養士 2 名による管理のもと、個々のアレルギー対応、栄養管理、さらには個々の肥満度チェックまで行っている。</p> <p>また、園児が給食を楽しむことができるように食育にも力を入れている。</p> <p>衛生自主点検は、調理にかかわる職員全員が毎日行っており、調理環境の衛生面についても細心の注意を払っている。</p>